

■ 4グループ ■ 市民と行政協働によるまちづくり

長岡京市が抱える問題と解決に向けての課題

自慢できること 誇りに思うこと

HP・広報紙はGOOD!!

HPはIT事業に力を入れているのか、使いやすいようになったように思う

長岡京市のHPは内容が増えてきた

広報紙が充実していて毎回楽しみ
・カラフル
・市長日誌 など

府内で一番

シルバーが配っていることも良い

●少数派の意見
審議会等の市民参加も形式的でまだ少ない
少数意見が表示されていない
物言わない市民の声を聞きたい

●官民の分担
行政がやるべきことをやる
行政と民・民の役割分担
ボランティア NPOはただ (安い) と思っている

解決のひとつの手

●声を聞くしくみ弱い
市民は不満を持っている
市に直接言えるしくみを作る必要
市民の要望を聞くしくみ

課題

重要なほしい情報が不足

HPに市の悪いことは載っていない
情報公開制度は見えにくい
自分がほしい情報がとれてこそ情報
情報不足が交流 協働 を阻害している
市役所って何をしているのか見えにくい
自分が取らないとあかん

例えば (西口再開発の例)
西口再開発の細かい使い勝手等に、市民の意見が反映されていない
西口再開発がどういう目的でどうなるのかわからない

市役所との接点である施設へのアクセス不便(場所 時間 手段)

市役所の支所がほしい

高齢者が役所に来るのに一日かかり

土日の行政サービス

施設利用時間不便

高齢者の公共施設へのアクセス
(コミュニティバス)

共働きで市役所開庁時間に来られない

市の施設をもっとオープンに

アクセスなし 行きたくない。

市民同士の交流活動支援が弱い

NPO等の市民団体がより公益的な事業をする際に、行政ともっとうまく手がつなげないか?

ボランティアの人材バンクを作ったら?

市民と行政のパートナーシップを確立する為の、まちづくり支援センターの??

高齢者と若者世代 (幼児から) の交流の場を具体的に

現在活動している市民への助成

若者が主体的に取り組めるイベントがほしい

財源確保

使いたいところに使える財源

収入増を考えていない

財政危機解決には合併も当然考えるべきだ

水道料金、学校改修、西口の? 等、財政危機が予想されるのに危機感がない

監視力を強化する必要あり

監査が機能していない

市民が監視

隠れた部分は見えにくい

監視の為の情報

指標わかりにくい

住みやすい

自然が身近で大変住みよい町・子供が古里という実感

休みにはゆっくりできる場所だ

今のところ金にまつわるスキャンダルはない

住むには便利
交通・買い物

道路に難あり

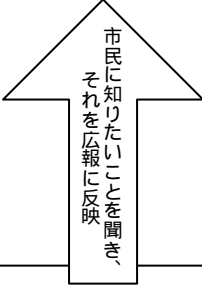
西口再開発関連の道路は一部改良されただけで、交通渋滞等が心配である

天神石段下から長岡京病院までの道が狭く、いつまで経っても解決されない

道路の必要見直し、目標達成していない

■ 4グループ ■ 市民と行政協働によるまちづくり

まちづくりの方向性と施策のアイデア

テーマ	方向性 (キャッチフレーズ)	施策アイデア
広 報 	市民参加型のホームページづくり ひとりの「Q」をみんなが共有 ひとつの「A」にみんなが納得 広報紙の抜本的な改善 「なにかも」をやめ 想像力豊かな広報紙づくり 様々な手段を通じた効果的な広報 繰り返し 様々 な手段の広報	H・Pの中に「FAQコーナー」をつくる 市民の苦情に市民等が答える仕組みづくり 市政に関する市民掲示板の設置 市のHPを市民が運営する部分も ソーシャルネットワーク・サービスの提供 行政情報を共有化する仕組みづくり（ボランティアによる管理など） ホームページにアクセスできない人への対応を 忘れない 必要な情報がすぐに分かるメリハリのある紙面 づくり 水道やクリーンセンターの情報も掲載する 障害を持つ人も広報情報を入手できる仕組み 同じ情報を多様な手段を活用して何度もくりか えし発信する仕組み ケーブルテレビやIP 電話で市役所 市民 公 共施設等を無料でネットワーク化 もっと観光 PRを
広 聴	市民の声を市政に反映 市民の声に必ず応える 気軽に相談できる市役所の実現	色々な立場の人の意見を聞く 市民の声を市政に反映（回答、対応できない理 由の説明も含む）する仕組みをつくる 子ども議会の複数回開催 市役所の働きを子ども達が見学 フロアマネージャーの設置と職員からの声かけ 市役所に何でも相談窓口、総合窓口の設置 老人会等への出前質問会の開催 職員の接遇、対応能力の向上 市民による監視機能としての広聴
市民交流	交流を活発化する様々な仕掛けづくり 役所は“場”の提供 市民は積極的な参加	若者を集める広場公園へ集めるイベント（マリマ や屋外コンサート等）の開催 大学との交流の促進 市から市民や団体へ働きかける仕組み ふれあい切符の具体化 子ども向け市民団体の活動情報を学校で配布 できる仕組み 施設の効率的な利用による交流促進（午前中： 子育て支援ルーム 夕方：小学生の文庫等あ そび場 夜：若者の居場所）
公共経営への 市民参加	公的サービスの提供主体としての協働 市民参画の新しい型を探ろう 好きなことを言うだけではありません	重要な評価指標は、市民とともに作成 指標結果は、年複数回の進行管理と常時公表 開発事業などの定期的な見直しを市民の参加 市民団体が市役所サービスを代替実施 市と市民が腹を割った協働も 市民がもっと具体的な実行力のある提案を （例）上下水道の民間委託 学校の耐震化を PFI、で 広域行政 病院等 の推進 官 民協働の宿泊施設づくりなど 公共施設（学校、自治会館など）の利用度 活 用度をもっとあげよう 民間の力を利用して行政コストを下げよう
市民からのアクセス	住みよいまちで付加価値アップ 閑静ながらアクセス良好	市内どこでもバス（発着は携帯電話で） お客様志向でアクセス改善策の実施

